

第一回FVPセミナー 委員会構成についての提案

地区財団委員会 副委員長

地区財団FVP委員会 委員

溝畑正信(東大阪東RC)

2011年10月22日

補助金の名称

ロータリー財団
新地区補助金

ロータリー財団
グローバル補助金

新地区補助金

2年の業務周期で計画年度と実施年度

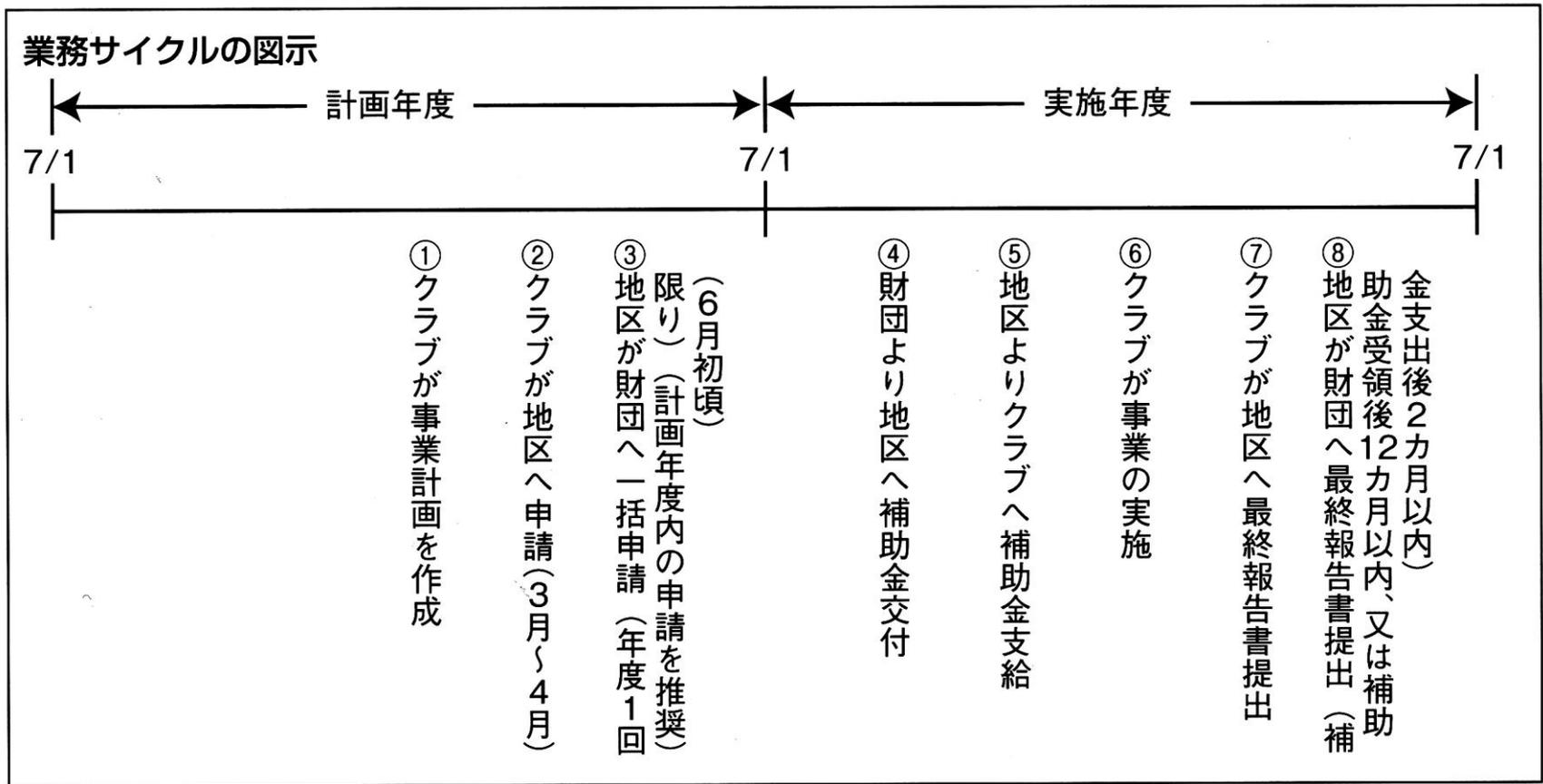
各クラブ会長エレクトがプロジェクトを

計画していき、次の年に実行していく

そこで、2012～13年度の会長エレクトは

しっかりとした計画を立てること

新地区補助金の業務サイクル

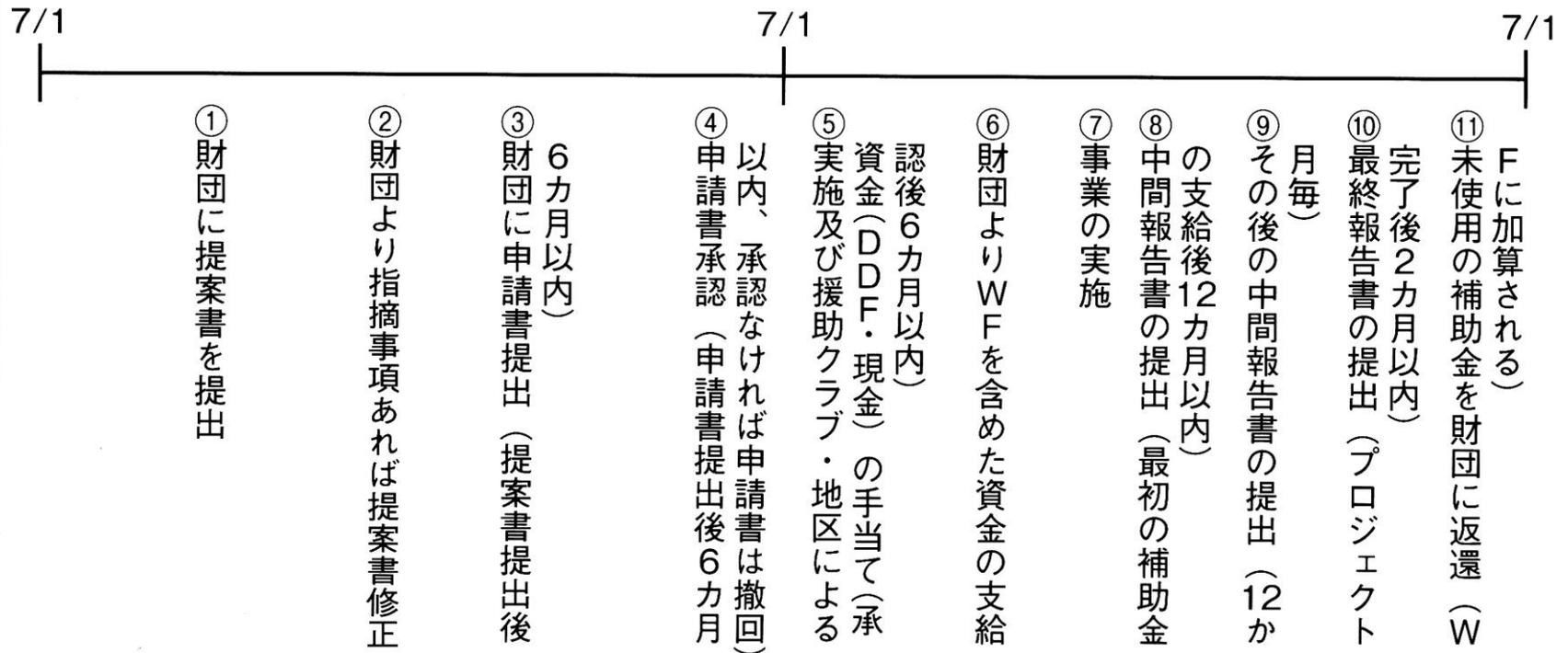


「未来の夢計画」ハンドブック2010年11月版…P.27参照

グローバル補助金の業務サイクル

業務サイクルの図示

提案書も申請書も随時受付け(年度に拘わらず)



「未来の夢計画」ハンドブック2010年11月版…P.29参照

2012-13年度以降の地区委員会構成 (案)

I. 地区ロータリー財団委員会

①財団情報・増進委員会

- 資金推進
- ポリオ・プラス
- イベント担当(地区財団セミナー、クラブ財団委員長会議、FVPセミナー、地区大会、国際大会)

②財団奨学金・学友委員会

- 国際親善奨学生
- 平和フェロー
- 学友
- 新地区補助金、グローバル補助金

③職業研修委員会

- 研究グループ交換、職業研修チーム

④財団法人道的補助金委員会

- 地区補助金、マッチング・グラント
- 新地区補助金、グローバル補助金

II. 地区社会奉仕委員会

- 補助金担当チーム=地区大会はロータリー財団委員会へ
- 地域社会奉仕担当チーム

III. 地区国際奉仕委員会

- 補助金プロジェクト担当チーム=地区大会はロータリー財団委員会へ
- 国際交流、国際大会担当チーム

2012-13年度のクラブ委員会構成 (推奨)

I. ローターリー財団委員会

II. 社会奉仕委員会

III. 国際奉仕委員会

従来の単年度制は見直しを要する

国際奉仕部門、社会奉仕部門、ロータリー財団部門の次年度への引き継ぎは極めて重要です

例えば、副委員長が次年度委員長に、委員長は次年度委員に

国際奉仕委員会、社会奉仕委員会に

FVPチームまたは担当者を設け、

担当者は地区協議会の部門別協議会では

ロータリー財団部門に出席、

FVPセミナーにも出席

2013年から全地区が施行する「**Future Vision**」は奉仕の手法が**ポジティブな変化**をもたらすでしょう。

新地区補助金とグローバル補助金の2つの分野をクラブが理解すると、予て、**ロータリーが模索していた奉仕の姿をクラブに導入できる**と言っても過言ではありません。

本日まで出席の**クラブ会長、クラブ会長エレクト、クラブ財団委員長**の皆さん、ともに勉強して、**クラブの活性化に繋げましょう。**